

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします

研究課題名： 眼瞼下垂自動認識システムの開発

研究の目的

眼瞼下垂は加齢とともに増えてる疾患ですが、最近の研究で多くの生活習慣病や排尿障害（尿が近い等）に関連することが示唆されつつあります。この研究は顔認証システムを応用し、瞳孔と眼瞼下端の距離を認識させる眼瞼下垂自動認識システムを用いて、生活習慣やそれに伴う排尿障害スクリーニング法を開発し、簡便かつ非侵襲的に測定可能な情報をもとに、病気の予防や早期治療に結びつけようとする研究です。

研究実施期間：（倫理委員会承認日）～ 2026年 3月 31日

対象となる方： 2002年1月から2023年3月までに眼瞼下垂の検査を行なった患者、もしくは2016年に岩木健康増進プロジェクトで眼瞼下垂の測定を行った参加者を対象にします。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

過去に当院を受診、もしくは岩木健康増進プロジェクトに参加された患者様の眼瞼下垂の情報（写真や瞳孔～眼瞼距離）を用いて、眼瞼下垂自動認識システムの開発を行います。また、疾患に関連する背景情報（年齢、性別、身長、体重、併存疾患、喫煙歴、臨床情報など）を集積します。通常の検診や診療・治療に必要な検査、測定された情報を用いて研究を行いますので、患者さんに新たな侵襲や負担、不利益が発生することはありません。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して行います（これを匿名化といいます）。また本文書により情報公開をし、拒否機会を保障します。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えできませんが、希望される方は下記までご連絡ください。この研究では、研究費用として科学研究費と文部科学省の研究費、そのた公的な研究費を用いますので患者様の負担はありません。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	泌尿器科学講座・畠山真吾 shingoh@hirosaki-u.ac.jp 連絡先：弘前大学 医学部 泌尿器科学講座（月～金：9：00-17：00） 電話 0172 - 39 - 5091、FAX0172 - 39 - 5092
-------	--